



本学会名誉会員 後藤昭二先生は
令和元年6月12日逝去されました。
謹んで弔意を表します。
日本微生物資源学会

後藤昭二先生 御略歴

1. 経歴

昭和2年(1927年)11月10日	出生
昭和24年(1949年)	東京物理学校(現:東京理科大学)卒業 東京大学農学部農芸化学科研究生
昭和26年(1951年)	山梨大学工学部醗酵化学研究施設実験実習指導員
昭和33年(1958年)	山梨大学工学部助手
昭和36年(1961年)	農学博士(東京農業大学)
昭和37年(1962年)	山梨大学工学部講師
昭和38年(1963年)	山梨大学工学部助教授
昭和45年(1970年)	東京大学応用微生物学研究所非常勤講師(1988年まで)
昭和55年(1980年)	山梨大学工学部教授
昭和58年(1983年)	山梨大学工学部醗酵化学研究施設長(1990年まで)
平成2年(1990年)	山梨大学工学部長
平成5年(1993年)	山梨大学定年退官・山梨大学名誉教授
令和元年(2019年)6月12日	逝去

2. 学会活動

日本微生物株保存連盟(現:日本微生物資源学会)
葡萄酒技術研究会
1991~2000年副会長, 2001~2006年会長

後藤昭二先生を偲び

Obituary: Prof. Shoji Goto (1927-2019)

日本微生物資源学会名誉会員、葡萄酒技術研究会名誉会員、山梨大学名誉教授の後藤昭二先生は、令和元年（2019年）6月12日に逝去されました。

後藤先生は、1949年、東京物理学校（現：東京理科大学）をご卒業ののち東京大学農学部農芸化学科研究生を経て、1951年、山梨大学工学部醗酵化学研究施設実験実習指導員になられました。1958年山梨大学工学部助手となり、1961年には農学博士（東京農業大学）の学位を取得されました。

1962年には山梨大学工学部講師、翌年には同助教授に昇格されました。後藤先生は、酵母の分類学で第一人者であり、1969年に飯塚 廣先生と共著で東京大学出版会から「酵母の分類同定法」を出版され、1973年に再販されるなど、酵母の分類学にたいへん貢献されました。1970～1988年には、東京大学応用微生物学研究所非常勤講師も併任されていました。

また、1975年には、長谷川武治先生編の「微生物の分類と同定」〈上〉の酵母の章を分担執筆され、さらに1984年の改訂版では化学分類学の項も追加されるなど、酵母の分類学の世界では、なくてはならない研究者でありました。1980年には、山梨大学工学部教授に昇格されました。その後1983～1986年、1988～1990年には、山梨大学工学部醗酵化学研究施設（現：山梨大学ワイン科学研究センター）長となりました。その間、醗酵化学研究施設に酵母の保存機関 RIFY を設立され、1984年には、日本微生物株保存連盟（現：日本微生物資源学会）の機関会員に入会し本学会活動を開始しました。

1990年4月には、山梨大学工学部長となり山梨大学の運営に携わられていました。私は、1990年3月に後藤研究室の助手として採用されました。東京農業大学（小崎道雄研究室）、理化学研究所時代（駒形和男先生、鈴木健一郎先生）は、乳酸菌の分類学的研究を行っていたため、酵母の分類の研究は、初めてでした。後藤先生より、酵母のいろはを習い、ワイン酵母のタリズム、倍数性およびキラー性について、また山梨県および長野県の白ぶどうからの野生酵母の分布やワイン醸造特性の改善のためのワイン酵母の選抜と交配についての研究を行い、酵母に関するいくつかの論文を発表することが出来ました。現在でも自然界から、酵母や乳酸菌の分離を行い、それらの菌株を用いて、発酵食品等の開発を行っています。

後藤先生は、ワイン業界においても重要な役割を果たされました。日本ワインの品質と醸造技術の向上、ワイン産業の発展を目的として1956年産学官連携で設立された葡萄酒技術研究会の副会長を1991～2000年、会長を2001～2006年まで歴任して、その後は名誉会員として日本ワインの発展に貢献しました。先生が主宰された山梨大学発酵微生物工学研究部門で多くの学生を指導し、教育や大学運営の面から山梨大学の発展に寄与されました。1993年山梨大学を定年により退官し山梨大学名誉教授となりました。退官後は、1994年度～2005年度山梨中央市民生活共同組合（のちに1998年に生活協同組合市民生協やまなしに改称、現：生活協同組合ユーコープ）の理事長となられ、11年の長きに渡り山梨県民の食をつかさどる生活協同組合の発展に寄与されました。

2019年6月27日～6月29日に日本微生物資源学会第26回大会を私が大会実行委員長となり、山梨大学大村記念ホールで行いました。奇しくも先生が亡くなられて15日後の出来事でした。会員の皆様とともに先生の酵母という微生物資源の研究および産業利用へのご貢献に感謝の気持ちを共有し、ご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

（柳田藤寿）